

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	埼玉県農業大学校
設置者名	埼玉県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配置 困難
2年	野菜学科	夜・ 通信	3 4	6	
	水田複合学科	夜・ 通信	3 4	6	
	花植木学科	夜・ 通信	3 4	6	
	酪農学科	夜・ 通信	3 4	6	
1年	短期農業学科	夜・ 通信	2 2	3	
		夜・ 通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

職員室受付窓口にて閲覧

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	埼玉県農業大学校
設置者名	埼玉県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	埼玉県農業大学校外部評価委員会
役割	本校の建学の目的及び社会的使命の達成に必要な大学校運営や教育内容の一層の充実・強化を図るため、大学校の運営状況等について客観的な学校評価を実施する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
農業者（元県立熊谷農業高校 校長）	1 年	
農業者（農村女性アドバイザー）	1 年	
農業大学校後援会 会長	1 年	現役学生の親族
武蔵野同志会 会長	1 年	卒業生
県立熊谷農業高校 校長	1 年	
日本栄養大学 名誉教授	1 年	
熊谷市農業振興課 課長	1 年	
J A くまがや 代表理事専務	1 年	
農業者（滑川町農業委員）	1 年	
日本野菜ソムリエ協会認定野菜ソムリエプロ	1 年	
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	埼玉県農業大学校
設置者名	埼玉県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・「教育課程履修要領」(平成7年4月1日施行) ・生徒配布の学生便覧・教育計画の「教育課程履修要領」に(単位基準)、(成績の評定)、(出席要件)、(定期試験)を明記。 ・生徒配布の学生便覧・教育計画の「学習の手引き」の「4 履修科目の内容」にて、各科目のねらい、学習項目を明記。 ・シラバスの作成、授業開始1回目講義で配布。 (シラバスの項目:学習内容、ねらいと目標、評価方法・基準、授業の進め方、教科書、参考書、履修上の注意、授業計画(回・時間、項目、授業内容))	
授業計画書の公表方法	
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・「履修科目の成績評定について」(平成18年9月18日決裁) ・生徒配布の学生便覧・教育計画の「教育課程履修要領」の「5 講義科目の評定について」に講義科目の評定を明記。 ・シラバスの作成、授業開始1回目講義で配布。 (シラバスの項目:学習内容、ねらいと目標、評価方法・基準、授業の進め方、教科書、参考書、履修上の注意、授業計画(回・時間、項目、授業内容)) ・1週間前に試験日程を告示し、期末試験を実施。 ・「履修科目の成績評定について」に従い、評定、校長決裁。 ・期ごとに、個人宛、学習連絡表(取得単位数、評定結果)を配布。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・「教育課程履修要領」(平成7年4月1日施行) ・「履修科目の成績評定について」(平成18年9月18日決裁) ・生徒配布の学生便覧・教育計画の「教育課程履修要領」の「5 講義科目の評定について」に、試験点数、授業態度点、出席点で評定することを明記。 ・成績優秀者選定会議にてG P Aに準じた点数配点で評定した順位を提案、審査する。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	生徒配布の学生便覧・教育計画
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・「教育課程履修要領」(平成7年4月1日施行)にて卒業単位数をきめ、生徒配布の学生便覧・教育計画の「教育課程履修要領」に卒業単位数を公表。 ・期末ごとに期末試験を実施、「履修科目の成績評定について」に基づいて成績評定を実施。 ・年度末の運営会議にて成績、卒業の是非を審査してから、校長決裁で単位及び卒業を認定する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	生徒配布の学生便覧・教育計画の「教育課程履修要領」

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	埼玉県農業大学校
設置者名	埼玉県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	*対象外
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		2年	野菜学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	9 8 単位	4 1 単位	1 4 単位	4 6 単位	3 単位	単位時間 /単位
			1 0 4 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
6 0 人		5 6 人	0 人	7 人	0 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・野菜の栽培、経営について講義・演習と実習等の比率は約50%。また、課題解決型学習を基軸に実践教育の実施、第一線の外部講師、農業経営者育成のカリキュラム編成、必要な免許・資格の取得。
成績評価の基準・方法
（概要） ・教育課程履修要領（成績の評定、出席要件、定期試験等）
卒業・進級の認定基準
（概要） ・教育課程履修要領（卒業単位数、単位基準、進級）
学修支援等
（概要） ・初年次教育の実施（基礎知識、基礎計算の補講）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28人 (100%)	1人 (4%)	27人 (96%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ・ 自宅就農、農業法人等への就職就農、農業関連産業就職			
（就職指導内容） ・ キャリアコンサルティング、インターンシップ研修、合同説明会、見学会			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ 大型特殊自動車免許（農耕車限定）、けん引免許（農耕車限定）、フォークリフト運転技術者、他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・ 聞き取り、三者面談、キャリアコンサルティング		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		2 年	水田複合学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	9 8 単位	4 1 単位	1 4 単位	4 6 単位	3 単位	単位時間 /単位
			1 0 4 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1 0 人		1 1 人	0 人	2 人	1 人	2. 5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・主穀及び野菜の栽培、経営について講義・演習と実習等の比率は約50%。また、課題解決型学習を基軸に実践教育の実施、第一線の外部講師、農業経営者育成のカリキュラム編成、必要な免許・資格の取得。
成績評価の基準・方法
（概要） ・教育課程履修要領（成績の評定、出席要件、定期試験等）
卒業・進級の認定基準
（概要） ・教育課程履修要領（卒業単位数、単位基準、進級）
学修支援等
（概要） ・初年次教育の実施（基礎知識、基礎計算の補講）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ・自宅就農、農業法人等への就職就農、農業関連産業就職			
（就職指導内容） ・キャリアコンサルティング、インターンシップ研修、合同説明会、見学会			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・大型特殊自動車免許（農耕車限定）、けん引免許（農耕車限定）、フォークリフト運転技術者、他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	2人	18%
（中途退学の主な理由） ・進路変更		

(中退防止・中退者支援のための取組) ・聞き取り、三者面談、キャリアコンサルティング

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		2年	花植木学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	9 8 単位	4 1 単位	1 4 単位	4 6 単位	3 単位	単位時間 /単位
			1 0 4 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
3 0 人		2 7 人	0 人	4 人	0 人		4 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) ・花植木の栽培、経営について講義・演習と実習等の比率約50%。また、課題解決型学習を基軸に実践教育の実施、第一線の外部講師、農業経営者育成のカリキュラム編成、必要な免許・資格の取得。
成績評価の基準・方法
(概要) ・教育課程履修要領（成績の評定、出席要件、定期試験等）
卒業・進級の認定基準
(概要) ・教育課程履修要領（卒業単位数、単位基準、進級）
学修支援等
(概要) ・初年次教育の実施（基礎知識、基礎計算の補講）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
・ 自宅就農、農業法人等への就職就農、農業関連産業就職			
(就職指導内容)			
・ キャリアコンサルティング、インターンシップ研修、合同説明会、見学会			

(主な学修成果(資格・検定等)) ・大型特殊自動車免許(農耕車限定)、けん引免許(農耕車限定)、造園技能士3級・2級(植木造園専攻)、フォークリフト運転技術者、他 (備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	1人	0%
(中途退学の主な理由) ・体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・聞き取り、三者面談、キャリアコンサルティング		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		2年	酪農学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	9 8 単位	4 1 単位	1 4 単位	4 6 単位	3 単位	単位時間 /単位
			1 0 4 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1 0 人		8 人	0 人	2 人	1 人	2 . 5 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・酪農経営の飼養・栽培、経営について講義・演習と実習等の比率約50%。 また、課題解決型学習を基軸に実践教育の実施、第一線の外部講師、農業経営者育成のカリキュラム編成、必要な免許・資格の取得。
成績評価の基準・方法
(概要) ・教育課程履修要領(成績の評定、出席要件、定期試験等)
卒業・進級の認定基準
(概要) ・教育課程履修要領(卒業単位数、単位基準、進級)

学修支援等
(概要) ・初年次教育の実施（基礎知識、基礎計算の補講）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) ・農業法人等への就職就農、農業関連産業就職			
(就職指導内容) ・キャリアコンサルティング、インターンシップ研修、合同説明会、見学会			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・大型特殊自動車免許（農耕車限定）、けん引免許（農耕車限定）、家畜（牛）人工受精士、フォークリフト運転技能者、他			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8 人	1 人	1 3 %
(中途退学の主な理由) ・体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・聞き取り、三者面談、キャリアコンサルティング		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
農業		1 年	短期農業学科	—		—	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	3 6 単位	2 5 単位	3 単位	2 3 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			5 1 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
3 5 人		2 5 人	0 人	4 人	0 人	4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・ 野菜の栽培、経営について講義・演習と実習等の比率約 50 %。また、課題解決型学習を基軸に実践教育の実施、第一線の外部講師、農業経営者育成のカリキュラム編成、必要な免許・資格の取得。
成績評価の基準・方法
（概要） ・ 教育課程履修要領（成績の評定、出席要件、定期試験等）
卒業・進級の認定基準
（概要） ・ 教育課程履修要領（卒業単位数、単位基準、進級）
学修支援等
（概要）

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	23人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） ・ 自宅就農、農業法人等への就職就農、農業関連産業就職			
（就職指導内容） ・ インターンシップ研修、合同説明会、見学会			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ 大型特殊自動車（農耕車限定）免許、けん引（農耕車限定）、フォークリフト他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	2人	8%
（中途退学の主な理由） ・ 就農、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・ 聞き取り、面談、休学等の相談		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
全て	円	118,800 円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0921/gaiyo/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 大学校後援会、武蔵野同志会、県内農業高校、地域指導農家、学識経験者等から校長が依頼する委員により構成し、任期は校長の依頼の日から当該年度末とする。 外部評価委員会においては、大学校運営や教育内容の一層の充実・強化を図るため、大学校の運営状況等についての客観的な学校評価を実施する。 評価結果については、大学校職員に周知するとともに教育活動及び学校運営等の向上に活用する。また HP 等で公表を行う。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
農業者 (元県立熊谷農業高校 校長)	1 年	
農業者 (農村女性アドバイザー)	1 年	
農業大学校後援会 会長	1 年	現役学生の親族
武蔵野同志会 会長	1 年	卒業生
県立熊谷農業高校 校長	1 年	
日本栄養大学 名誉教授	1 年	
熊谷市農業振興課 課長	1 年	
J A くまがや 代表理事専務	1 年	

農業者（滑川町農業委員）	1 年	
日本野菜ソムリエ協会認定野菜 ソムリエプロ	1 年	
第三者評価結果の公表方法		
ホームページ https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0921/gaiyo/		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 埼玉県農業大学校ホームページ https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0921/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H111220200029
学校名 (〇〇大学 等)	埼玉県農業大学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	埼玉県

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		20人（15）人	20人（14）人	20人（15）人
内 訳	第Ⅰ区分	－人	－人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	（うち多子世帯）	（ ー人）	（ ー人）	
	第Ⅲ区分	0人	－人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－人	－人	
	区分外（多子世帯）	－人	－人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				0人（0）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	0人	一人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	一人	0人
計	人	一人	一人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。